

つれづれ

平成29年10月27日(金)

思いやり算

先日入ったお店に、『思いやり算』と題したプリントが貼ってありました。私たちが生きていく上で、大切な内容でしたので紹介します。

- + (たす)・・・助け合うことで力は大きくなる。
- (ひく)・・・何事も引き受けることで、互いに喜びあえる。
- × (かける)・声をかけることで、一体感が味わえる。
- ÷ (わる)・・・人をいたわると、互いに笑顔になれる。



一人一人の力は小さいものであっても、仲間が互いに助け合うことで、大きな力を発揮することができます。協力し合えば、より大きな成果が得られます。

誰でも、しんどいこと、面倒なことは引き受けたくないものです。しかし、そのようなことを進んで引き受けることで、それに関わる一人一人の負担は減り、結果的には互いに喜び合える関係が作れるのです。

どんなときも、声をかけ合うことは大切です。とくに、困難な状況を乗り切る時には、互いの声かけで不安は減り、活力が湧いてくるものです。優しい声かけ、励ましの声かけなど、よい声かけをしたいものです。

「いたわり」を漢字で書くと「労り」となります。いくつかの意味がありますが、その中に「思いやりの気持ちで接すること」があります。人間関係において、常にいたわりの心で人に接すれば、そこには笑顔が満ち溢れます。

数学と違って、「思いやり算」はどのような計算をしても、プラスになるとばかりです。どうぞ、これからの皆さんの生き方の参考にしてください。

<保護者の皆様へ>

学校ホームページで、日々の教育活動のようすを公開しています。どうぞ、本校ホームページを閲覧してください。

【大阪市教育委員会 天下茶屋中学校】で検索



QR code

天下茶屋中学校HP → <http://swa.city-osaka.ed.jp/swas/index.php?id=j762750>